

1 研究の概要

(1) 研究主題

自立活動の時間における、児童生徒の「できる」を増やす授業づくり

－目指す児童生徒の姿と到達状況を具体的に捉え、P D C Aサイクルの充実を図る－

(2) 主題設定の趣旨

自立活動は、個々の児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための領域であり、授業時間を特設して行う自立活動の時間における指導を中心とし、各教科等における指導においても、密接な関連を図って行われるものです。自立活動の指導は、児童生徒一人一人の実態を的確に把握し、指導すべき課題を明確にすることによって、個別に指導目標や具体的な指導内容を定めた個別の指導計画を作成し、指導を展開していきます。また、その指導計画は、「当初の仮説に基づいて立てた見通しであり、幼児児童生徒にとって適切な計画であるかどうかは、実際の指導を通して明らかになるもの」⁽¹⁾であり、「計画（Plan）－実践（Do）－評価（Check）－改善（Action）のサイクル（以下、P D C Aサイクル）で進められなければならない」⁽²⁾と示されています。

令和元年度佐賀県教育センター個別実践研究「一人一人のニーズを踏まえた自立活動の指導の進め方」で行ったアンケートでは、自立活動の指導が「難しい」「少し難しい」と感じている教師の割合が97.2%でした。自立活動の指導を行う上で難しいこととして、「具体的な指導内容を設定し、実際に指導・支援すること」の項目についての回答が一番多く、また「児童生徒の学習状況や結果を適切に評価し、指導の改善に生かすこと」の項目についての回答も多くありました。他にも、「自立活動を行う上で、知りたいことや気になること」に関する自由記述では、「一人一人の児童生徒の実態に応じた目標設定や評価の仕方について詳しく知りたい」などという回答が多くありました。自立活動の指導は、指導目標や指導内容を個別に設定することから、多くの教師が自立活動の具体的な指導の進め方について自信をもつことができなかつたり、難しさを感じたりしている現状があります。そこで、令和元年度、令和2年度個別実践研究では、自立活動の指導の進め方について、児童生徒の実態把握から具体的な指導内容の設定までの過程に焦点を当てました。ここでの具体的な指導内容とは、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（以下、学習指導要領解説自立活動編）に例として示されている「実態把握から具体的な指導内容を設定するまでの流れの例」（以下、流れ図）に基づいて設定したものです。

本研究では、自立活動の指導の中心となる自立活動の時間において、教師が実際の指導・支援に具体的なイメージをもちながら、授業づくりを進めていくことができるようにするため、具体的な指導内容を設定した後の授業づくりについて焦点を当て、授業づくりの考え方や進め方を示すこととしました。その際、応用行動分析（Applied Behavior Analysis）（以下、A B A）で用いられる課題分析及びスモールステップを参考にし、具体的な指導内容から授業内容を考えていく過程や本時の目標から到達状況の基準を設定する考え方などを示すことで、自立活動の時間に指導する内容が明確になり、評価を基に指導の改善を図ることができると考えました。

教師が自立活動の時間における指導に具体的なイメージをもち、目指す児童生徒の姿と到達状況を具体的に捉え、P D C Aサイクルの充実を図っていくことが、児童生徒の「できる」を増やす授業づくりにつながると考え、本主題を設定しました。

(3) 研究の目標

自立活動の時間において、個々の児童生徒の実態に応じた授業内容を設定し、目指す児童生徒の姿と到達状況の基準を具体的に捉え、P D C Aサイクルの充実を図った授業づくりについて探る

(4) 研究方法

- ア 先行研究や文献による自立活動の時間における指導，応用行動分析で用いられる課題分析及びスモールステップについての理論研究
- イ 自立活動の時間における，児童生徒の「できる」を増やす授業づくりの考え方や進め方のポイントをまとめた「自立活動の授業づくりナビ」（以下，「授業づくりナビ」）の作成・提案
- ウ 特別支援学級及び通級指導教室における児童生徒の「できる」を増やす授業づくりの実践及び指導事例の作成

(5) 研究内容

- ア 自立活動の時間における指導，応用行動分析で用いられる課題分析及びスモールステップについての先行研究調査や文献研究を行います。
- イ 本研究で考える授業づくりについて，具体的な指導内容から授業内容を考えていく過程や，本時の目標から到達状況の基準を設定する際のポイント，評価と授業改善の視点についてまとめた「授業づくりナビ」を作成し，提案します。
- ウ 小学校，中学校自閉症・情緒障害特別支援学級と小学校言語障害通級指導教室において，児童生徒の「できる」を増やす授業づくりを実践し，指導事例を作成します。

《引用文献》

- (1) 文部科学省 『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）』 平成30年3月 p.118
- (2) 文部科学省 『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）』 平成30年3月 p.106

《参考文献》

- ・文部科学省 『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）』 平成30年3月
- ・佐賀県教育センター 『一人一人のニーズを踏まえた自立活動の指導の進め方』 令和元年度個別実践研究
- ・古川 勝也・一木 薫編著 『自立活動の理念と実践』 2016年 ジアース教育新社
- ・有川 宏幸 『教室の中の応用行動分析学』 2020年 明治図書
- ・井上 雅彦編著 『自閉症の子どものためのABA基本プログラム 家庭で無理なく楽しくできる生活・学習課題46』 2008年 学研教育出版